

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.4）

重点取組	在宅医療の推進
目標	地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して住み慣れた地域で在宅療養できる支援体制を構築します。
実施主体	市町、医師会、医療機関、地域包括支援センター、保健所等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回	活発な意見交換にならない	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回
② 在宅歯科保健医療体制の充実	地域在宅医療推進窓口のご案内の配布 訪問歯科診療対応医療機関一覧の配布	歯科に関する要望が見えてこない	地域在宅歯科医療推進窓口のご案内の配布 訪問歯科診療対応医療機関一覧の配布
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 令和2年度 実績 55件	電話と来訪者の相談支援のみ	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 令和3年度実績（5月まで）11件
④ 人材育成	多職種研修 令和2年12月26日 参加者数40名 講義内容「災害に備えて」 講師：医師 坪井 謙氏	コロナ禍の開催方法について	令和3年12月実施予定
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	自立支援協議会において、災害時における支援体制がどうあるべきか話し合いを行った結果、令和3年度より自立支援協議会内に協議体を設置することとした。	現状の災害時における支援体制の把握ができていない。	現状における災害時の支援体制の把握や、支援のあり方について話し合う。（年5回予定）
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	新型コロナウイルス感染症感染予防のため開催なし		鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」の開催 4月19日開催

【上尾市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	(1) 上尾市医師会、上尾中央総合病院、ケアマネの会、市をメンバーとして医療介護連携会議を毎月1回（第4木曜日）開催。多種職連携を強化するために、医療・介護従事者を対象とした研修（グループワーク）を開催している。 ※令和2年度は新型コロナウイルス流行のため中止。 (2) 専門職との連携を強化し、ケアマネジャー等の資質向上を目指すため、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など多様な専門職の助言を受けながらケアプランを検討する「自立支援型地域ケア会議」を開催した。 4回開催。	(1) 介護従事者に比べて、医師や医療従事者の参加が少ないので、周知方法や会場等に工夫が必要。 (2) 自立支援型ケア会議の検討結果から地域課題を抽出し、施策形成へとつなげることが課題。	(1) 令和3年9月17日に医療・介護従事者を対象とした講演会を、集合型でなくオンラインにて開催予定。 (2) 令和3年度から各地域包括支援センターで開催。13回開催予定。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	(1) 在宅医療連携拠点（上尾市医師会在宅医療連携支援センター）が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。 相談件数：266件（R2.4～R3.2）。 (2) 在宅診療マップを作製し、医療機関、地域包括支援センター公共施設等に配布。 配布数：3,870枚 (3) 高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳（わたしノート）を作製し、市民に配布。配布数：838冊	(1) 課題として捉えていることはない。 (2) 地域包括支援センターが相談・支援の際に活用しており、追加の要望もあるので、課題として捉えていることはない。 (3) 在庫不足な状況であり、配布対象者を限定（原則65歳以上の単身高齢者、または出前講座で書き方の説明を受けた人）している。	(1) 在宅医療に関する情報提供や相談・支援を継続 (2) 配布数：4,000枚 (3) 今後、より多くの高齢者に活用してもらうため、増刷ができるよう検討をしていく。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度は未実施。鴻巣保健所圏域の4市1町、医療機関、鴻巣保健所が参加。	関係機関・団体による継続的な情報共有・連携の強化が必要である。	令和3年度は4月19日開催（第一回）、第2階は1月頃開催予定。鴻巣保健所圏域の4市1町、医療機関、鴻巣保健所が参加。

【桶川市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	退院後速やかに介護サービスが必要な場合、医師や病院の相談員より、早めの介護認定の申請を促したり、入院中に介護認定調査を受けるようにする等の提案がある。介護認定の申請は、市や地域包括支援センターが窓口。(地域包括支援センターは代理申請)入院中の主治医より退院後のかかりつけ医に情報提供がなされるなど、在宅に戻っても、医療・介護のサービスを切れ目なく利用できる仕組みが出来ている。		令和2年度の取組みと同様。
② 在宅歯科保健医療体制の充実	A：必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施。 B：桶川市地域資源マップ（在宅療養マップ）を作成し、その中に歯科医院の情報を掲載。地域包括支援センターや歯科医院、市民へ配布。	A：県在宅歯科医療推進窓口の認知度が低い。	A：必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施。 B：令和2年度の取組みと同様。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療と介護を一体的に提供する体制作りを担う機関として「桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター」を設置。退院支援や相談対応などを行っている。 相談件数 35件		令和2年度の取組みと同様。相談件数 17件 (R3.6月時点)
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	日常生活用具申請等により医療機器の使用を把握している人、保健所からの情報提供があった人から医療依存度の高い人の把握を行う。聴覚障害者用防災バンダナを聴覚障害の手帳を取得した人、手話通話ができる人等、市内在住の希望者へ配布。避難訓練等の場での防災バンダナの周知。	保健所から市への情報提供に同意が得られない人で、市の福祉に繋がっていない人は把握が難しい。	引き続き、医療依存度の高い人の把握を行う。また、聴覚障害者用防災バンダナの配布・周知を行う。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	病院や保健所、関係機関と連携しながら対応した。また、身寄りがなく、生活に不安のある高齢者には、早めに成年後見制度を活用するなどの周知を行った。		令和2年度の取組みと同様。

【北本市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	医療・介護関係者の研修会を2回企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。	・医療・介護関係者の連携強化を促進するため、研修会等企画していく。	・今年度中での実施に向けて調整中。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・在宅医療連携センターの相談件数 延べ40件 ・自立支援協議会こども部会内に医療的ケア児協議の場を設置し、3回開催。 地域資源・地域課題の共有	・相談窓口の周知を継続し、連携調整、情報提供等による支援を実施していく。	・在宅医療連携センターにおける相談への対応。 ・医療的ケア児協議の場の開催：全3回開催予定
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	・自立支援協議会こども部会内に医療的ケア児協議の場を設置し、3回開催。 令和3年度に向けた課題整理		・医療的ケア児協議の場の開催：全3回開催予定 ・個別支援計画の事例を通じた事例検討予定

【伊奈町】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	町・医療機関等と定期的な会合を実施 多職種連携研修会		町・医療機関等と定期的な会合を実施 多職種連携研修会
② 在宅歯科保健医療体制の充実	特になし（民間医療機関が実施）	在宅診療可能な医療機関との連携	特になし（民間医療機関が実施）
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有		在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有
④ 人材育成	研修・講習の参加		研修・講習の参加
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	避難行動要支援者システムの運用・整備	対象者把握及び情報提供同意者が少ないこと	前年度に引き続き、システムの保守運用を行い、より情報提供同意者が増加するよう策を講じる。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	町内の高齢者を見守る「お年寄り世帯見守りたい」ボランティアの運用	たい員数がまだ少ないことや、周知が十分にされていないこと	前年度に引き続き、たい員数の更なる増加を図るため、事業の周知を徹底する。

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	北足立郡市医師会学術講演会として、医師を対象に「私の意思表示ノート」の内容について講演を実施したが、それ以外はコロナ禍で進行していません。	多職種との連携強化のための会議の不足。(令和元年度から引き続きです。)	・入退院時連携ガイドラインの作成。・北足立郡市医師会学術講演会として多職種による「人生の最終段階における医療・ケアに関する普及啓発事業」を実施。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	コロナ禍で進行していません。	専門職種の情報不足による情報提供、相談支援の不足。(令和元年度から引き続きです。)	多職種連携の研修会等を通じて顔の見える関係を築く。

【上尾市医師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・在宅緩和ケア充実支援事業研修会を開催 地域の緩和ケアの知見を有する病院と地域の医療機関及び介護事業所等との連携体制構築のための研修会を開催する。 対象者：市内の病院、医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、薬剤師、行政	コロナウイルス感染拡大防止のため研修会を開催出来なかった。	・在宅緩和ケア充実支援事業研修会を開催 地域の緩和ケアの知見を有する病院と地域の医療機関及び介護事業所等との連携体制構築のための研修会を開催予定。 対象者：市内の病院、医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、薬剤師、行政
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・在宅医療連携拠点（上尾市医師会在宅医療連携支援センター）が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。 相談件数：2674件。 ・医療機関、地域包括支援センター、公共施設等を記載した在宅診療マップ作製に関与 ・高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳（わたしノート）作製に関与		・在宅医療連携拠点の相談・支援  ・高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳（わたしノート）印刷製本。座談会等の開催時に配布。  ・ACP普及啓発講師人材バンク登録 登録医師3名 講演会や座談会への派遣回数 3回予定
④ 人材育成	・人生の最終段階における医療・ケア等に関する研修会を開催。 対象者：地域の医師、看護師などの医療従事者やケアマネジャーなどの介護従事者等を対象	コロナウイルス感染拡大防止のため研修会を実施できなかった。	・人生の最終段階における医療・ケア等に関する研修会を開催予定。 対象者：地域の医師、看護師などの医療従事者やケアマネジャーなどの介護従事者等を対象

歯科医師会

【北足立歯科医師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加		在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加
② 在宅歯科保健医療体制の充実	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣 北足立窓口 10件 上尾窓口 28件	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談 北足立窓口 23件 上尾窓口 17件	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談

薬剤師会

【鴻巣市薬剤師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	7/20、10/13鴻巣市在宅医療介護連携推進会議に参加	日頃から介護職が身近に相談できる薬局・薬剤師の雰囲気・環境づくり	令和3年度鴻巣市在宅医療介護連携推進会議に参加予定
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(月1回)に薬剤師アドバイザーの派遣 5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザーの派遣	アドバイザー薬剤師が広く疾患への知識を深め、効果的なアドバイスを行う	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(月1回)に薬剤師アドバイザーの派遣を予定 5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザーの派遣を予定

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・医療・介護・福祉をつなぐ会の企画協力 10月22日50名 県活センター ・医療と介護のプロジェクト会議参加	・顔の見える関係連携強化 ・他職種の業務内容の相互理解	・医療・介護・福祉をつなぐ会の企画・運営 10月21日 県活センター
④ 人材育成	・在宅医療連携体制充実支援事業への参画 2月15日10名 ・薬剤師のための在宅医療講習会；コロナ感染防止のため中止	・医療、ケアなどを担う他職種との連携の構築	・在宅医療連携体制充実支援事業への参加 ・薬剤師のための在宅医療講習会 R4.2

【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	コロナ禍のため地域包括ケア会議が2回程でした。		コロナが落ち着きましたら地域包括ケア会議が2か月に1回開催されると思います。桶川市の5つの地域包括ケア会議の参加となります。薬剤師の横の連携を取り更なるアドバイスの向上に努めたいと思います。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	各薬局で随時相談に応じていた。		各薬局随時相談

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	北里大学薬剤部と連携強化をはかりたかったが未実施	定期的に打合せを行う	今のところ未定

消防本部

【埼玉県央広域消防本部】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援		医療支援情報等について関係市との共有	関係市連携強化、情報共有の実施

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・難病対策地域協議会の実施（書面会議） 1回 協議会委員24名	委員の改選時期をR3.12迎えるため、委員の選任と協議会の開催が必要 協議会で検討すべき地域課題の抽出	委員を改選し、R4.1月難病対策地域協議会を開催予定
② 在宅歯科保健医療体制の充実	保健所歯科保健推進会議 10月22日開催 41名参加	管内市町間での歯科保健に対する格差を縮めるための働きかけが必要。	保健所歯科保健推進会議 11月開催予定
③ 必要な情報の提供、相談・支援	①個別相談（通年） ・難病 訪問：5人 面接：35人 電話：98人 ・小慢 訪問：6人 面接：19人 電話：163人 ②（難病）療養生活のおたずねの実施 （小慢）療養状況を伺うアンケートの実施	コロナ禍のため、訪問等保健所からの直接支援が困難。また、在宅で受けられるサービスが縮小あるいは感染予防のため利用を控えるケースがある。	①個別相談（通年） ・難病 訪問：30人 面接：50人 電話：120人 ・小慢 訪問：20人 面接：40人 電話：200人 ②（難病）療養生活のおたずねの実施 （小慢）療養状況を伺うアンケートの実施
④ 人材育成	（精神保健） 精神障害者の地域包括ケア研修会 「高齢期のうつ 高齢者の自殺予防」 1回 15人（市町担当者・地域包括支援センター） （難病対策） 在宅難病患者を支える支援者育成のため神経難病患者へのコミュニケーション支援に関する研修を企画 約50人の申し込みがあったがコロナ禍のため中止	（精神保健） 保健、福祉の関係者が精神疾患の知識と対応方法について学ぶ機会を設け、地域ケアの実践につなげる。 （難病対策） 在宅難病患者を支えるため訪問看護ステーションスタッフやケアマネージャー等支援者への研修機会の提供とネットワークが必要である。	（精神保健） 精神障害者の地域包括ケア研修会 1回 （難病対策） 在宅難病患者を支える支援者育成のため神経難病患者へのコミュニケーション支援に関する研修を10月開催予定
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	①災害時医療機器使用者リスト作成 年2回（3月末、9月末）更新 人工呼吸器装着55人 酸素療法利用者53人 ②在宅医療機器使用者のマッピング年2回（3月末 9月末）更新 人工呼吸器装着40人 酸素療法利用者52人 ③管内市町への在宅医療機器使用者の情報提供 年2回（6月、12月）	マンパワーの課題があり直接支援が難しい。管内市町の保健主管課経由で情報提供をすとも、リストの活用状況や個別支援計画策定状況の把握が必要	難病・小慢受給者のうち人工呼吸器装着者と酸素療法利用者を把握し①災害時医療機器使用者リスト作成 年2回（3月末、9月末）更新 ②在宅医療機器使用者のマッピング年2回（3月末 9月末）更新 ③管内市町への情報提供年2回（6月、12月） ④医療ケア的児協議の場への参画
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備 等	新型コロナウイルス感染症の拡大により連絡会が開催されなかった。	医療と福祉の連携強化	身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供検討会参加